

法人本部

企画課管理用 管 — G — 3

推進主体	業務戦略渉外部 業務戦略渉外課
責任者	業務戦略渉外部長

分類			実施計画	開始年度	完了年度	将来的な継続
管	—	G	中期計画推進のための募金活動	令和 4 年度	令和 9 年度	あり(予定)

## ① 目的・内容

目的:

中期計画「学習院VISION150」において各学校、法人が取組む各種計画を推進するための募金活動

内容:

## I. 「学習院VISION150」推進募金

依頼対象: 父母・保証人、卒業生、教職員、賛助員、企業

募金方法: 単発型寄付(使途項目から任意に選択する方式、目安額なし)

継続型寄付「学習院サポーターズ倶楽部」(一定額を継続的に寄付する方式)

募金種別: 単発型寄付

- ①教育改革推進資金(質の高い教育・研究に資するための資金に充当)
- ②学習院国際交流基金(学生・生徒等の国際交流を支援するための基金に充当)
- ③学習院奨学基金(奨学金を必要とする学生・生徒等のための基金に充当)
- ④課外活動助成基金(課外活動活性化のための基金に充当)
- ⑤各学校等指定寄付(寄付者の望む学校を直接支援するための資金に充当)
- ⑥緑化関連事業(3キャンパスの緑化整備のための資金に充当)
- ⑦施設設備等充実資金(施設・設備を整備するための資金に充当)
- ⑧カーボンニュートラル推進資金(施設以外)(SDGs実現に向けた環境整備事業の資金に充当)
- ⑨文化財保護資金(文化財の保護費用や本院の歴史を伝える活動に資するための資金に充当)

継続型寄付「学習院サポーターズ倶楽部」

- ①教育改革推進資金(質の高い教育・研究に資するための資金に充当)
- ②学習院国際交流基金(学生・生徒等の国際交流を支援するための基金に充当)
- ③学習院奨学基金(奨学金を必要とする学生・生徒等のための基金に充当)

## II. 「入学募金・卒業募金」

入学募金については、税法上の寄付金控除の対象とならず、文部科学省から厳格な運用を求められているため「学習院VISION150」推進募金とは別建ての募集活動となる。また、卒業募金については税法上の寄付金控除対象となるものの、大学・女子大学卒業生の父母・保証人のみを対象とし、寄付種別についても「教育改革推進資金」に限定しているため、入学募金同様の活動となる。入学募金・卒業募金は事業計画終了後も恒常的に募金活動を行う予定。

依頼対象: 父母・保証人(卒業募金は大学・女子大学のみ対象)

募金方法: 単発型寄付

「入学募金」1口10万円

初等科・幼稚園(5口以上)、大学・女子大学・男女高等科・男女中等科(3口以上)

「卒業募金」1口5万円

大学・女子大学(できるだけ多数口)

募金種別: 「入学募金」教育改革推進資金(入学時)に充当

「卒業募金」教育改革推進資金に充当

## ② 到達目標(数値目標/定性目標)

30億円(単年度募金目標額5億円×6年)

(注) 事業計画期間中に新棟建築計画が決定した場合は、別に目標額を検討する。

(様式2) 実施計画書 兼 報告書

③ ロードマップ							
年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
予定	→ 制度設計 ●						
	→ 実施準備期間						
		→ 部内・常務理事承認					
		→ 制度開始					

④ 数値目標の詳細							
指標の名称		指標の定義(計算式/説明)					
1	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標		500,000千円	500,000千円	500,000千円	500,000千円	500,000千円	500,000千円
実績		571,807千円	664,305千円	658,129千円	449,909千円 (令和7年11月末日現在)		

(様式2) 実施計画書 兼 報告書

⑤ 実施計画／実施報告		
年度	実施計画	実施報告／今後の課題
令和4年度	<p>I.「学習院VISION150」推進募金 「学習院VISION150」に掲げた各学校、法人の計画(公開情報)を募金趣意書の中で紹介し、新事業計画の周知と計画推進のための支援を仰いでいく。また、継続型寄付については運用の見直しを検討し、継続支援者の増強を目指す。</p> <p>II.「入学募金」 入学募金の寄付金払込方法を変更することにより寄付者の利便性向上を図ると共に、他の寄付金と別管理することで厳格な運用を行う。</p>	<p>I.「学習院VISION150」推進募金 ・新たに作成した募金趣意書により、中期計画「学習院VISION150」の周知を図ると共に事業計画推進のための支援を広くに仰ぎ、①単発型寄付については、計画どおりに実施した。②継続型寄付については、令和5年6月からの、新制度による運用開始を予定して検討中である。今後、係るシステムの検証作業等が必要となる。</p> <p>II.「入学募金」 ・寄付金払込方法について、振込用紙を使用する方法から、銀行ATMまたはインターネットバンキングによる振込に変更し、寄付者の利便性向上を図った。同時に、入学募金用の新規口座を設け、他の寄付金との別管理を実現した。</p>
令和5年度	<p>I.継続型寄付(学習院サポーターズ倶楽部)制度変更 寄付者の加入をより多く見込むことができ、支援期間の長期化も期待できる制度に改変して募集を開始、継続支援者の増加を目指す。</p> <p>II.施設設備等充実資金募金の継続 大学新東1号館建設や女子大学1号館建設を目的に募集してきた募金であるが、令和4年度を終期としていたため、令和5年度以降に実施される施設設備に係る計画の中から、寄付者の積極的支援が見込める内容を目的として募集体制を整え、当該募金の継続を図る。</p>	<p>I.継続型寄付(学習院サポーターズ倶楽部)制度変更 実施計画にある目的を達成するため、クレジットカード決済とし、本院指定のWEB上で、寄付者自身が、年間の決済回数、1回あたりの金額を設定、寄付金種別(使途)も選択できるようにする等、6月1日付で運用制度を改定した。今後、様々な機会をとらえて新規入会者の獲得を目指す。</p> <p>II.施設設備等充実資金募金の継続 本院エネルギー管理委員会で承認の「カーボンニュートラルの実現に向けての取組み計画」において必要となる、太陽光発電や空調機の更新機器備品を調達することを目的に、【施設設備等充実資金「カーボンニュートラル推進資金(施設・設備)」-SDGs対応-】として募集を継続している。</p> <p>III.「学習院VISION150」推進募金 単発型寄付の、任意に選択できる寄付金種別(使途)について、6月より、これまでの7種別に次の2種別を加えて募集を行っている。 ・カーボンニュートラル推進資金(施設以外)=SDGs実現に向けた環境整備事業の資金に充当 ・文化財保護資金=文化財の保護費用や本院の歴史を伝える活動に資するための資金に充当</p>
令和6年度	<p>I.「学習院VISION150」推進募金及び「入学募金・卒業募金」 継続型寄付(学習院サポーターズ倶楽部)への入会者獲得に係る活動を重視しつつ、基本的には初年度(令和4年度)からの活動を踏襲する。</p> <p>II.広報活動の強化 寄付募集において重要な役割を果たすHPについて、近年、基本的な情報更新が中心となっているところ、特にリーダーにつながられるようなコンテンツ(寄付金利用の実態報告)や各種寄付金の情報更新について充実を図る。</p> <p>III.今後期待できる施策の検討・実施 顕彰制度の新設や、遺贈・相続寄付の獲得に向けた体制整備(ノウハウを持つ企業との提携)等、今後、有効と思われる施策の立案及び始動。</p>	<p>I.継続型寄付(サポーターズ倶楽部)への入会者獲得 春秋の大型寄付依頼時、桜友会報発送時にリーフレットを同封した他、感謝状贈呈式等、様々な機会を捉えて入会を呼びかけ、現在150名が入会(継続)中である。なお、旧制度との(各々募集開始からの)同時点比較では若干良い数字となっている。</p> <p>II.広報活動の強化 HPについて、基本的な情報更新だけではなく、募集寄付種別毎に、実際に寄付の恩恵を受けた学校の教員や学生等の言葉を紹介する形で、寄付金利用の実態報告を行った。</p> <p>III.今後期待できる施策の検討・実施 ・顕彰制度については、現存する功労章と特別功労章との間にマイルストーン的な顕章を設けることを基本に検討中である。今後、起案に至るまでには、関係部署との交渉(調整)が必須となる。 ・遺贈・相続寄付の獲得については、実際の遺贈事案が複数発生した。実施計画にあるとおり、ノウハウを持つ企業との提携は有効なものと考えて検討中だが、本年度の経験は非常に有意義なものであり、今後の体制整備にあたり拙速に事を運ばぬよう心掛けたい。</p>

(様式2) 実施計画書 兼 報告書

<p style="text-align: center;">(2025年度)</p>	<p>I. 「学習院VISION150」推進募金及び「入学募金・卒業募金」 継続型寄付(学習院サポーターズ倶楽部)への更なる入会者獲得を目指す等、基本的には初年度(令和4年度)からの活動を踏襲する。</p> <p>II. 霞会館記念学習院ミュージアム開館記念募金 貴重な史料を未来永劫に保存し、より良い展示活動を行うため、運営資金の確保の一助とすべく募金活動を行う。(寄付者名を銘板に掲載)</p> <p>III. 遺贈関係(今後に期待できる施策の検討・実施) 単に体制整備だけではなく、可能性を持つ対象者の発掘に加え、学習院のファンとなってもらうための継続性を有する施策の構築を目指す。</p>	<p>I. 「学習院VISION150」推進募金及び「入学募金・卒業募金」 ・継続型寄付「学習院サポーターズ倶楽部」への会員獲得強化募金趣意書への掲載のみならず、別チラシを制作しDMに折込等、同倶楽部の周知徹底を図っている。また、団体会員の獲得のため、桜友会本部の助力を得て傘下団体への働きかけを行っているが、そこからあがってきた現場の状況、各団体からの反応を受け、団体会員資格の要件緩和のため「学習院サポーターズ倶楽部運営要領」の一部改正を行った。今後の団体会員の増加に期待している。 ・卒業募金は費用対効果が著しく低調のため、今般の郵便料金大幅値上も踏まえ、今年度(令和7年3月卒業生対象)から募金依頼を停止した。節約した予算をホームページのリニューアル・内容の充実等に振り向け、効果的な募金活動に繋げている。</p> <p>II. 霞会館記念学習院ミュージアム開館記念募金 個人、企業・法人等への募金活動を行い、順調に寄付累積額を伸ばしている。年度末までの募集期限を見据え、大学史料館とも協力の上、募金活動の一層の推進に取り組んだ。</p> <p>III. 遺贈関係(今後に期待できる施策の検討・実施) 遺贈寄付に繋がるチャンネル増とこれまで難しかった遺贈案件(不動産、有価証券等)受け入れへの道を拓くこと、及び本院に遺贈に係る知見を蓄積することを目的に、ノウハウを持つ企業との提携を進めている。</p>
<p style="text-align: center;">(2026年度)</p>	<p>I. 継続型寄付「学習院サポーターズ倶楽部」への会員獲得強化 引き続き、卒業生、父母保証人、教職員及び卒業生団体に対し、協力の働きかけをしてゆく。</p> <p>II. 霞会館記念学習院ミュージアム開館記念募金 開館記念募金が令和7年度末を持って終了となったことを受け、ふるさと納税(豊島区、新宿区)等、後継募金の在り方を検討する。</p> <p>III. 遺贈関係(今後に期待できる施策の検討・実施) ノウハウを持つ企業との提携により、遺贈に係る新たなチャンネル確保と必ずしも企業に頼らなくても済むよう渉外部内への知見の蓄積を進める。</p> <p>IV. 個人篤志家へのアプローチ、ケアの強化 大口篤志家へのアプローチを強化すると共に日常的なケアのための施策を検討、実行する。</p> <p>V. 法人・企業・団体への募金活動強化 修学支援給付奨学金等、令和7年度にスキーム化された諸制度への協力を求める募金活動を強化する。</p> <p>VI. 次期システム開発への準備 内製システムから、令和10年度の外部の寄付金管理システムの導入に向け、問題点の洗い出しと導入前年度からの作業に係る令和9年度予算要求を検討する。</p>	<p style="background-color: #cccccc;"></p>